

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	ゆうぽーと保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 小川 由利子	定員（利用人数）：	60（59）名
所在地：	224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4035-13		
TEL：	045-937-7077	ホームページ：	<a href="https://www.yuupo-to.com/">https://www.yuupo-to.com/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2008年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 貴静会		
職員数	常勤職員： 19名	非常勤職員：	6名
専門職員	保育士 21名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	2名
	事務員 1名		
施設・設備の概要	居室数 保育室6室、調理室、事務室、一時保育室、更衣室、休憩室、教材室	設備等	園庭、ウッドデッキ、トイレ（子ども用3か所、大人用2か所） 駐車場、シャワー室

### ③理念・基本方針

保育理念 「うれしい、たのしい、おいしい保育園」  
 保育方針 「職員の手作り保育の中で一人ひとりを大切にしみんなと一緒に元気に育つ」  
 全職員の愛情あふれる保育の中で、和食中心の手作り給食、手作りおやつを美味しく頂き、思いきり体を動かし遊びこむ保育を実施。遊びと絵本を柱に保育を広げます。  
 保育目標を  
 ①いいあたま：こどもの依存欲求や情緒の安定を図る。元気よく遊び、明るい挨拶、自ら進んで取り組む姿勢を養う。  
 ②やさしいところ：植物の生育や開花、実りを実感したり、思いやる気持ちを持つ。  
 ③じょうぶなからだ：一人一人の生活リズムを大切にする。（食事、排泄、午睡）積極的に戸外に出て遊ぶ。  
 ④がまんづよいこ：興味のあることや経験したことを楽しむ。それぞれのペースでも最後までやりとげる力を養う。

④施設・事業所の特徴的な取組

保育理念に「うれしい、たのしい、おいしい保育園」を掲げて、全園児を対象に「裸足保育」「リズム遊び」「板の山のぼり」「異年齢交流」「絵本」「おはなしタイム」「昔遊び」「自然体験」「体育活動」「和食中心の手作り給食」などの多様な活動に力を入れています。特に、脳の動きを活性化し体を鍛えていくことを目標とした体育活動「板の山のぼり」は園の特徴的な取り組みです。これは、2枚の板をちょうつがいをつなぎ、高さや角度を年齢に応じて調節できる山のようなものを、子どもたちが登る運動です。子どもたちは目を輝かせ、力を込めて手足を使って懸命に登ります。年齢が大きくなるにつれ、より傾斜のある山に挑戦していきます。できなかった時の悔しさ、諦めないでやり遂げようとする意思、そして登り切った時の達成感強い心へとつながっていきます。

異年齢の交流も盛んに行っています。2～5歳児までのたてわり保育「サンドウィッチデイ」や、1月には0～5歳児までを5グループに分けて1週間を過ごす「サンドウィッチウィーク」があり、年齢の大きな子どもが小さな子どもを気遣うなど、交流を通して互いに優しい気持ちを育てています。

4、5歳児クラスは年内を通して月1回「鶴見川探険」に出かけます。行き先も、やりたいことも、持ち物も子どもたちが考えて決めています。朝から夕方まで子ども主体の探険が繰り広げられ、虫を探したり、草花を集めたり、川に生息する魚に興味を持ったりして、自然遊びを追求していきます。同時に、これらの遊びを通して危険回避も学んでいます。

職員のチームワークは良好で、園長、主任、副主任、栄養士、調理師、事務員の全職員が子どもたちと関わり、行事にも全力で取り組んでいます。また、保護者との送迎の時間や懇談会、保育参観、給食試食会などの機会を大切にして子どもの成長・発達を共有し、信頼関係を作り上げています。職員と保護者が手を携えたアットホームな環境の中で、子どもたちは「うれしい、たのしい、おいしい」を体験しながら伸び伸びと育てています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月28日（契約日）～ 2024年2月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2018 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆保育理念に掲げる「うれしい、たのしい、おいしい」保育を実践しています

「うれしい、たのしい、おいしい保育園」を保育理念に掲げ、遊びや絵本、手作り給食などに力を入れています。遊びには子どもたちの要望も取り入れ、主体的な活動になるよう支援しています。腕と足の力を鍛える「板の山のぼり」や一日たっぷり山や川で遊ぶ自然遊び、お手玉やわらべうた等の昔遊び、園長や栄養士のお話タイムや0歳児から参加する異年齢保育などの多様な活動に子どもたちは興味をもって取り組み、最後までやり遂げる力を育てています。思いきり遊んだ後には、手作り給食やおやつでお腹も満たされています。職員はチームワークも良く、それぞれ意見を出し合ってより良い保育環境を追求し、実践につなげています。

◆保護者も卒園して大きくなった子どもも訪れるアットホームな保育園です

職員と保護者との良好な関係が築かれており、今回の利用者調査結果からも「担任以外の職員とも子どもの話ができる」「保護者と職員で子どもの成長が共有できている」などの高い評価が得られています。園だよりやクラスだよりを丁寧に作成して保護者に取り組みを伝え、懇談会や保育参観へも多くの参加があり、園行事のクリスマス会では保護者のグループが流行のダンスを披露するなど、職員・子ども・保護者が一つのチームとなって園を盛り上げています。また、卒園して大きくなった子どもたちも気軽に園を訪れており、長年にわたって子どもの成長を園全体で見守っています。園に関わる人々が訪れたくなるようなアットホームな保育園です。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

はじめに正規職員に配布し、自分自身で自己評価票を記入、そのあと3つのグループにわかれ評価項目の内容をひとつひとつ理解するための勉強会を行いました。  
そのグループごとにまとめたものをリーダーを中心に再度勉強会、10月中旬より乳児リーダー、幼児リーダー、栄養士を含めまとめ作業、全職員と話し合いをくり返し、ひとつひとつの内容を理解し確認していくことにとっても時間がかかりました。  
自分たちの仕事の重さ、責任を振り返る良い機会になりました。  
保護者のみなさまからのご意見は真摯に受け止め、改善できるところは対策を考えていきたいと思  
います。また、高い満足度をいただき大変うれしく思いました。とても励みになります。  
今後も、うれしい、たのしい、おいしい保育園でありつづけるため、全職員で力をあわせていき  
たいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり